

大阪市手をつなぐ育成会アンケート（2024年）【支援者向け】

大阪市手をつなぐ育成会では、12月1日に近畿知的障がい者福祉大会の開催を予定しています。

今大会の主たるテーマを“災害時における障がい児者の避難支援”としています。

本大会で講演およびシンポジウムを実施するにあたり、ご家族・支援者の皆さまがお困りになっていることや疑問に思われていることについて、事前にお伺いして可能であれば織りませたいと考えています。

お手数をおかけいたしますが、質問への回答をお願いいたします。

【回答締切日】2024年（令和6年）11月17日（日）

【提出方法】

- ・メール添付 honbu@city-osaka-ikuseikai.or.jp
- ・FAX 06-6765-5623
- ・インターネット回答 <https://qr.paps.jp/wlot>



アンケート回答フォーム
QRコード

回答につきましては、あてはまる項目に○をしていただくほか、必要に応じて詳細をご自由にご記入ください。（選択肢は複数選択していただいて構いません）

※本アンケートでの「避難支援」とは、「情報収集」「避難判断」「避難誘導」「避難先支援」をいいます。

※本アンケートでの「公的」サービスとは、福祉サービス（介護保険サービス・障がい福祉サービス等）をいいます。

1. 所属

(1) 事業所が所在する市区町村名

	都・道		市・区
	府・県		町・村

(2) 回答者の属性（1つだけ○をしてください）

- ・障がい者支援施設職員
- ・障がい児者居宅介護従事者（ホームヘルパー）
- ・ガイドヘルパー
- ・相談支援専門員（ケアマネ含む）
- ・その他

2. 日頃の困りごとを解決するための連携（支援者）

（1）防災・減災に関わらず、支援者としての当事者の困りごとを解決する際に連携している関係者をご回答ください。（あてはまるものに○をしてください・複数回答可）

- ・ 民生委員・児童委員
- ・ 町会や自治会などの役員
- ・ 地区の団体（例：福祉委員会、地域社会福祉協議会、青年対策委員会など）
- ・ 自主防災組織
- ・ 学校PTA（親の会）
- ・ 近隣住民
- ・ 自立支援協議会関係者
- ・ 地域福祉を担う地域の団体（NPOなど）
- ・ 商店（弁当店含む）
- ・ その他：

3. 関係する利用者に対するこれまでの避難支援

（1）回答者の所属する事業所の個別支援計画やケース台帳、サービス等利用計画のアセスメント項目にあるものをご回答ください。職能団体等が作成している項目を引用している場合は、「その他」に引用元の団体をご記入ください。（あてはまるものに○をしてください・複数回答可）

- ・ 災害リスクの有無
- ・ 可能性のある災害リスクの災害種別
- ・ 災害リスクの詳細
- ・ 必要な避難支援
- ・ 避難についての連絡方法と連絡先
- ・ 避難の支援者
- ・ その他：

（2）これまでに担当している人におこなったことのある避難支援についてご回答ください。（あてはまるものに○をしてください・複数回答可）

①平時（災害発生前）

- ・ 避難に関する本人・ご家族との話し合い

- ・災害リスクの確認
- ・避難先の確認
- ・避難支援の自立支援計画等への位置づけ
- ・自治会等との話し合い
- ・連絡体制の確認
- ・その他：

②災害発生の恐れがある場合（例：台風による避難情報が出されている状況）（あてはまるものに○をしてください）

- ・避難を促す声かけ
- ・避難誘導方法の確保（結果、確保できなかった場合も含む）
- ・自治会等との連絡調整
- ・避難情報の収集
- ・気象情報の確認・収集
- ・公的サービスによる避難先の確保（結果、確保できなかった場合も含む）
- ・公的サービス以外の避難先の確保（結果、確保できなかった場合も含む）
- ・その他：

（3）実際に避難が必要な場面で感じた避難支援上の困りごと・課題をご回答ください。

①～⑤の項目に自由にご記入ください。

①情報の収集

②避難の判断

③避難誘導

④避難先の確保

⑤避難先での生活支援

(4) 実際に避難が必要な場面で感じた避難支援上の困りごとや課題の要因として考えられることをご回答ください。(あてはまるものに○をしてください・複数回答可)

①本人拒否 (あてはまる理由に○をしてください)

- ・避難先環境 (例：和式トイレ、大広間など)
- ・災害リスクの理解不足 (例：これぐらい大丈夫)
- ・他者への遠慮 (例：迷惑をかける)
- ・避難支援者がいない
- ・その他

②ご家族・地域の支援体制 (あてはまるものに○をしてください)

- ・平時の付き合いがない
- ・本人の支援依頼の拒否
- ・ご家族の理解不足
- ・ご家族の支援がない
- ・地域の避難体制がない

- ・話し合ったことがない
- ・その他

③公的サービス（あてはまるものに○をしてください）

- ・平時からショートステイの利用枠（ベッド数）が足りない
- ・感染症対策により新規のショートステイ利用が困難
- ・平時利用していない人の緊急利用手続きが煩雑である
- ・災害発生の恐れがある段階でのサービス利用が困難
- ・その他

④その他の要因（具体的に記述ください）

4. 支援している人における専門的な避難支援の必要性

（1）関係される利用者のうち、在宅に居住する人の避難支援についてお聞きします。

在宅に居住する人を担当しているか教えてください。（1つだけ○をしてください）

- ・担当している → 「5. 在宅に居住する人を担当している人における避難支援についてお聞きします。」の設問へ。
- ・担当していない → 「6. 福祉専門職の避難支援の認識」の設問へ。

5. 在宅に居住する人を担当している人における避難支援についてお聞きします。（あてはまるものに○をしてください・複数回答可）

（1）ご家族や知人・地域の支援だけで避難できない人（以下、「避難支援に専門性を要する人」と言います）で、専門性を要する理由をご回答ください。

- ・医療的ケアを要する
- ・介護的ケアを要する
- ・精神的ケアを要する

・その他

(2) 避難支援に専門性を要する人の専門的支援が必要な場面をご回答ください。(あてはまるものに○をしてください)

- ・情報収集・伝達
- ・避難判断
- ・移動
- ・避難先での滞在
- ・その他:

(3) 避難支援における専門的支援の現状をご回答ください。(1つだけ○をしてください)

- ・公的サービスで解決済み
- ・解決できていない
- ・その他:

(4) 現在担当している人の人数をご回答ください。

※相談支援専門員の方は、実態把握等で現在、支援している人に関わっている人を含んでご回答ください。

 人

(5) (4) で伺った現在担当している人のうち、避難支援における専門的支援を要すると考えている、または感じている人数をご回答ください。

 人

(6) (5) で回答された人数の内訳をご回答ください。(あてはまる箇所に○をしてください)

	1～ 5人	6～ 10人	11～ 15人	16～ 20人	21～ 30人	31人 以上
要支援1～要介護1						
要介護2・3						
要介護4・5						
障害支援区分1・2						
障害支援区分3・4						
障害支援区分5・6						
認定なし						

(7) (3) で「解決できていない」と回答した方にお聞きします。解決できていない課題・支援をご回答ください。(あてはまるものに○をしてください・複数回答可)

- ・本人・ご家族に避難を判断してもらうのに必要な情報の伝達体制の構築
- ・本人・ご家族が避難判断できない場合の適時の声かけ体制の構築
- ・本人が避難先に移動する方法・体制の確立
- ・本人が長時間滞在できる避難先の確保
- ・本人が避難先で長期滞在するための生活支援方法・体制の確立
- ・その他

6. 福祉専門職の避難支援の認識

(1) 過去の災害では、高齢者・障がい者の被災率が高いとの報告があることについて、回答者のご認識を教えてください。(1つだけ○をしてください)

- ・知っていた
- ・知らなかった

(2) 自身の防災・減災に関する取組みについてご回答ください。(あてはまるものに○をしてください・複数回答可)

- ・自身や職場の災害リスクを認識している
- ・防災・減災に関する講演会・講話に参加した
- ・自身の避難計画を作成している
- ・家族と避難や避難先等を話し合っている
- ・職場の災害対応マニュアルやBCPを把握している
- ・その他

(3) 避難行動要支援者対策の理解・認識していることをご回答ください。(あてはまるものに全て○をしてください・複数回答可)

- ・「避難行動要支援者名簿」を聞いたことがある
- ・担当している人の市町村の「避難行動要支援者名簿」の対象者要件を把握している
- ・担当している人が避難行動要支援者であるかどうかを把握している
- ・避難行動要支援者に係る個別避難計画（個別計画）を知っている
- ・避難行動要支援者に係る個別避難計画（個別計画）を作成したことがある
- ・その他

(4) 避難行動要支援者の個別避難計画作成の必要性についてご回答ください。(1つだけ○をしてください)

※個別避難計画とは避難支援が必要な人が予め避難先、避難のタイミング、避難支援の内容、避難支援者などを決めておく計画のこと

- ・必要である
- ・必要ない

(5) 現在、避難行動要支援者の避難計画（個別避難計画）の作成を福祉専門職が行っている市町村があります。担当している人の個別避難計画を作成することについてご回答ください。(1つだけ○をしてください)

- ・対応できる → 「(7)) 担当している人の避難支援について感じていることなどをご記入ください。」の設問へ
- ・対応は難しい → 「(6) (5) で「対応は難しい」と回答した人にお聞きします。」の設問へ

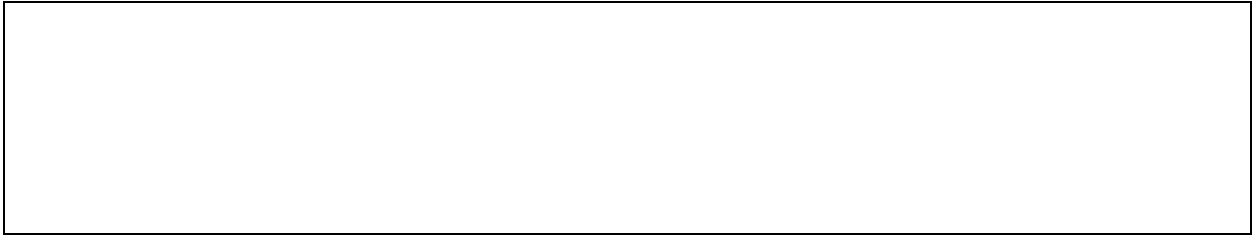
(6) (5) で「対応は難しい」と回答した人にお聞きします。

個別避難計画を作成することが難しい原因・要因・理由をご回答ください。(あてはまるものに全て○をしてください・複数回答可)

- ・作成する時間がない
- ・対象者が多い
- ・作成の優先順位が判断できない
- ・アセスメント項目がない
- ・計画様式がない
- ・避難先の確保が困難
- ・公的サービスの避難支援に活用できない
- ・避難先での生活援助の確保が困難
- ・避難誘導に関して地域と話し合う機会がない
- ・個別避難計画の研修の機会がない
- ・防災・減災に関する研修の機会がない
- ・災害リスクの確認方法が分からない
- ・避難支援の協力者が分からない
- ・災害イメージがわからない
- ・所属する事業所の業務だと考えていない
- ・ご家族の理解が得られない
- ・その他

(7) 担当している人の避難支援について感じていることなどをご記入ください。

7. 市(区)町村に対して、防災に関するご要望がありましたらご記入ください。



ご協力いただき、ありがとうございました。

※アンケート実施にあたっては「(一社) 社会調査協会倫理規程」を確認しています。

- (1)調査データは統計的に処理されます。個人のプライバシーの保護については十分配慮し、回答者にご迷惑をおかけすることはありません。
 - (2)ご協力いただきました調査結果については、集計結果を広く公開することも予定しております。
 - (3)アンケート調査への回答および用紙の提出によって、アンケート調査への協力について同意したこととみなさせていただきます。
- 上記(1)から(3)の趣旨にご理解いただきご回答をお願いいたします。